

48期生の皆さん、お久しぶりです。こうして皆さんとお話するのは、1月10日の全校集会以来でしょうか。この間、センター試験、期末考査、私立大学一般入学試験、国公立大学2次前期試験と、試験ばかりで、おそらく緊張の連続だったと思います。せめて、今日と明日は、千里高校でゆっくりしてください。

私は、明日の卒業式でも、「はなむけのことば」として、お話しさせていただきますが、今日の予行では、卒業式では、言えない話をしたいと思います。

皆さんは、最新の「日清カップヌードル」のCMを見たことがありますか。その中で、ビートたけしさんが演じる、とある大学の学長が、こともあろうに卒業式の式辞で、「卒業生の皆さん、本大学で学んだことは、一切役に立ちません。」と言い切ってしまう場面があります。さすがに、明日の卒業式で、私が「千里高校で学んだことは、一切役に立ちません。」というわけにはいきませんし、もちろんそんなことは、思ってもいません。CMでは、その直後に、案の定、会場が大混乱になってしまって、学長は暴れだすわ、なぜかレーザービームの発射ボタンを押して、日清食品本社を破壊してしまうわ、で結局、なぜ学長は、そんなことを言ったのか、その理由は、わからないのですが、このCMを見たときに、私の胸に浮かんだ歌があります。それは、THE BLUE HEARTSの「情熱の薔薇」です。少し紹介しますね。

見てきた物や聞いた事 いままで覚えた全部

でたらめだったら面白い そんな気持ち分かるでしょう

答えはきっと奥の方 心のずっと奥の方

情熱の真っ赤な薔薇を 胸に咲かせよう・・・

「そんな気持ち分かるでしょう」と聞かれても、受験勉強真っ只中の皆さんは、「いままで覚えた全部が、でたらめやったら、この努力は、どうしてくれんね。」と思うでしょうが、でも私には、昔から、結構このフレーズ、自分の中では、腑に落ちて、「そんな気持ち分かる」んです。

オックスフォード大学で、AI（人工知能）を研究している学者が論文の中で、「アメリカの総雇用者の仕事のうち、47%は、10~20年後には、機械によって代わられる。」と予測しています。グーグルの創業者で前CEOのラリー・ページも、「20年後、あなたが望もうが、望むまいが、現在の仕事のほとんどが機械によって代行される。」と言っています。この予測が正しければ、いままで覚えたことが、でたらめではないにしろ、近い将来、役に立たなくなることが、十分起こりえます。ページは、さらに「創造性を必要としない仕事は、すべてテクノロジーに代行される。」とも言っています。

それでも、世界は、いままでも、そしてこれからも、人間が作っていきます。テクノロジーは、人間を補助するものであっても、人間に替わるものではありません。課題の解決に、コンピュータやAIなどを活用したとしても、最後に判断し、答えを出すのは、やはり人間です。その際、ポイントとなるのは、この「創造性」だと思います。そして創造性を発揮するには、柔軟な発想が必要です。既成概念に

とられず、常識を、すべて疑ってみる。行き詰ったら、一旦、全部リセットして、初めから考え直す。ときには、こういう「開き直り」ともいえる態度も必要だと思います。

そして、あきらめない「意志」も必要です。カップヌードルCM製作者は、このCMの企画意図として、次のことを述べています。

「現代の SNS 時代は、非寛容な時代と言えます。挑戦すれば、揶揄される。失敗すれば、叩かれる。このままでは、みんながちぢこまり、だれも挑戦しなくなってしまう。でもそこで大切なのは『自分の声』を聞く勇気。そして、私たちに必要なのは、相手の失敗を許容するという態度、寛容の精神だと思います。人間は誰だって、一度や二度の失敗はする。『何かに夢中になって、バカになる力』『たとえ失敗をしても、這い上がる力』いま求められるこの2つの力を、説教くさくなく、カップヌードルらしいユーモアでメッセージしたい、と考えました。」

だそうです。

私の好きな漫画の一つに、荒川弘先生の「鋼の錬金術師」があります。連載は、すでに終わり、現在、なぜか実写化が進められていますが、主人公のエドワード・エルリックが、コミック 27 巻 第 108 話「旅路の果て」の中で言った言葉を、最後に、皆さんに贈ります。

「方法はあるはずだ…。必ず…。考えろ、考えろ、考えろ。思考を止めるな！！」

それでは、明日の卒業式、皆さんといっしょに、いい式にしましょう。